

I-4 画像解析 ノートパソコンの設定方法

2010年3月27日 山下 淳

(1) 実験用ディレクトリ（フォルダ）の作成

実験用のディレクトリ（フォルダ）を適宜作成し，実験で使用する画像ファイルとプログラムをコピーする．

(1-1) フォルダの作成

フォルダの名前や場所は自由に決めることができますが，以下では標準例を示します．

例) Cドライブの直下に“ImageAnalysis”というフォルダを作成します．

(1-2) 画像ファイルのダウンロード

山下のホームページ(<http://sensor.eng.shizuoka.ac.jp/~yamasita/index-j.html>)の講義のページのうち，2010年度前期 機械工学実験(画像解析)へ移動し，画像ファイルをダウンロードします．または，直接以下の URL を指定して頂いても結構です．

<http://sensor.eng.shizuoka.ac.jp/~yamasita/lecture/2010/experiment/image/>

ファイル名の先頭が A のものは実験（その 1）用，B のものは実験（その 2）用で，実験では A と B でそれぞれ 1 つずつ，合計 2 つのファイルを使用します．

どの画像ファイルをダウンロードすれば良いかは，実験中に指示します．

実験時には画像ファイルが入った CD を準備してありますので，CD からコピーすることができます．なお，事前に画像ファイルを全部ダウンロードしたい場合には，ホームページの指示に従って一括ダウンロードを行うこともできます．

例) 34 番の画像を使用するように指示された場合，A034.bmp と B034.bmp をダウンロード（もしくはコピー）する．

(1-3) 画像ファイルの移動

ダウンロードもしくは CD からコピーした画像ファイルを(1-1)で作成したフォルダに移動させます．必ず作成したファイルの直下に画像ファイルを移動させて下さい．

例) A034.bmp と B034.bmp を C:\ImageAnalysis に移動させる．

(1-4) プログラムのダウンロードと解凍

画像ファイルと同様に，実験で用いるプログラムのファイルも講義のページからダウンロードします．または，直接以下の URL を指定して頂いても結構です．

<http://sensor.eng.shizuoka.ac.jp/~yamasita/lecture/2010/experiment/program.zip>

ダウンロードしたファイルは解凍して下さい．binary.exe，contraction.exe など合計 15 個のファイルができます．なお，実験時にはプログラムも CD からコピーすることができます．

(1-5) プログラムの移動

ダウンロードもしくは CD からコピーしたプログラムのファイルを(1-1)で作成したフォルダに移動させます．必ず作成したファイルの直下に移動させて下さい．

例) 15 個のプログラムのファイルを C:\ImageAnalysis に移動させる．

(2) コマンドプロンプトでのディレクトリ移動

「スタート」 「すべてのプログラム」 「アクセサリ」 「コマンドプロンプト」を選択し，コマンドプロンプト画面中において自分が作成したディレクトリに移動する．

例) コマンドプロンプトの画面で cd C:\ImageAnalysis (Enter) と入力する．

その他：画像ファイルをダブルクリックしても Windows のペイントが起動しない場合

ペイントは「スタート」 「すべてのプログラム」 「アクセサリ」 「ペイント」にあります．